20250409版

全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ

楽曲使用ガイダンス

本大会で使用できる楽曲について、以下のポイントを必ず確認してください。

1.楽曲使用の前提条件 ⇒2ページ

（1）著作者の意に反する改変をしないこと。
（2）1回のパフォーマンスで使用できる楽曲は3曲まで。
（3）正規の方法で音源を取得すること。
（4）演技中、途中で止めずに1枚で再生が終了する演技用CDを作成すること。

2.著作権管理団体と管理項目の確認 ⇒3ページ

（1） JASRACまたはNexToneで管理されている楽曲であること。
（2） 確認する項目は「上演/BGM」、「録音」、「ビデオ」の 3つの項目です。

3.発売元レコード会社の確認 ⇒5ページ

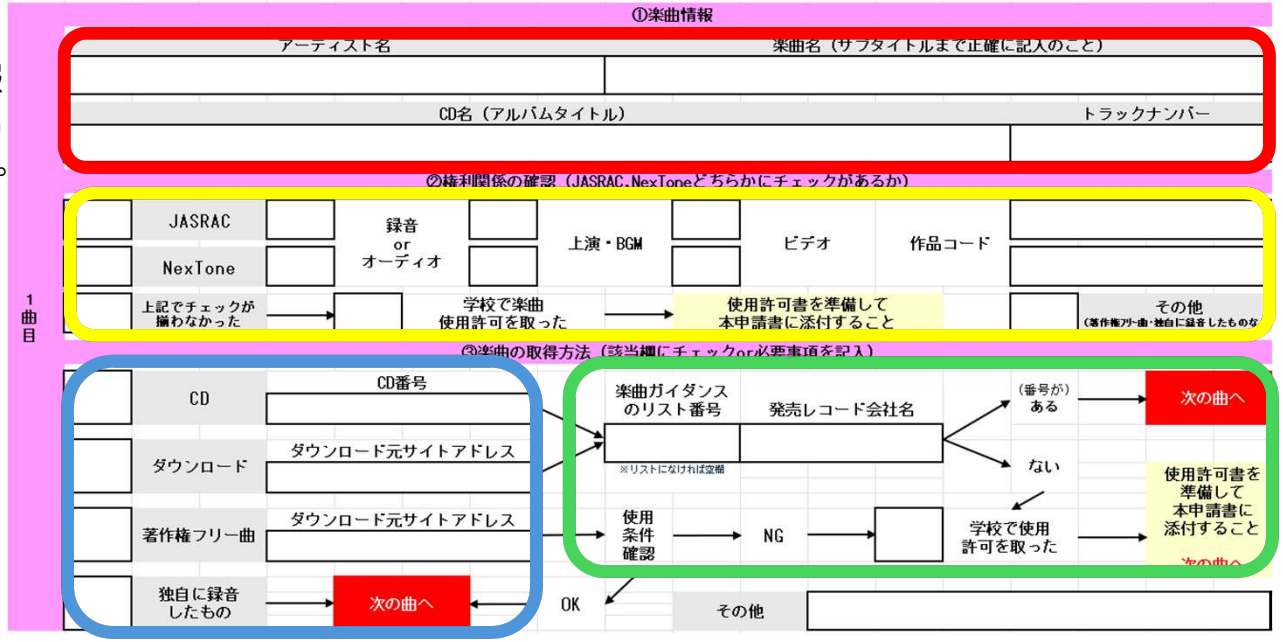
（1）日本レコード協会が管理するレコード会社から発売されている音源を使用すること。
（2）それ以外のレコード会社の場合は、個別に手続きが必要です。

4.著作権フリーの楽曲 ⇒7ページ

（1）使用条件や利用規約を確認し、商用利用やイベントでの使用が可能であることを確認すること。

これらの条件を満たした楽曲のみ使用可能です。 詳細は各ページを参照し、楽曲使用申請書を作成してください。
楽曲使用申請書は使用する楽曲が上記の項目をクリアしている曲かどうかを報告するリストです。
項目をクリアしていない楽曲は学校で独自にレコード会社や著作権者に使用許可を取ったり、使用料を支払ったりする必要があります。

①楽曲の情報
アーティスト名、楽曲名
などを正確に記入します。



②権利関係の確認
著作権の管理状況
を確認します。
⇒3ページ

③楽曲の取得方法
楽曲の入手元情報
を記入します。
⇒2ページ
⇒7ページ

③楽曲の取得方法
楽曲の発売元
を確認します。
⇒5ページ

1.楽曲使用の前提条件

音楽等の著作物は「著作権法」で保護されています。
音楽を使用する場合は、原則として著作権法に基づき、必要な手続きを行い使用することが必要です。
本大会で使用する楽曲に関してもオリジナル楽曲などを除き、主催者が使用に関する手続きを代行しています。
楽曲使用の前提として、以下の4点がまず求められます。

（1）著作者の意に反する改変をしないこと。
楽曲を切り貼りして使用したり、原曲の判別が難しくなるような加工は禁止です。

（2）1回のパフォーマンスで使用できる楽曲は3曲まで。
上記のことを踏まえて本大会では1校が1回のパフォーマンスで使用できる楽曲数を3曲までとしています。

（3）正規の方法で音源を取得していること。
①正規版のCD。
②日本国内で利用できる有料音楽ダウンロードサービスで購入した音源。
③オリジナル楽曲、自分たちで録音した環境音など。

下記の方法により取得した音源は使用できません。
・YouTubeなど動画サイトから取得した音源
・海外サイトからのダウンロードにより取得した音源
・定額制聴き放題サービス（音楽サブスク）のストリーミング音源
・非正規サービスから取得した音源

（4）演技中、途中で止めずに1枚で再生が終了するCDを作成すること。
演技中、CDを入れ替えたり、途中で止めたりする操作はできません。

また、演技用CDに録音する楽曲は下記の条件をクリアした楽曲で構成してください。

①正規の方法で音源を取得している。	⇒1.楽曲使用の前提条件	このページ（3）参照
②著作権の各項目が使用可能である。	⇒2.著作権管理団体と管理項目の確認	3ページ参照
③レコード会社がリストに載っている。	⇒3.発売元レコード会社の確認	5ページ参照
④上記以外の楽曲について著作者の許可が取れている。	⇒4.著作権フリーの楽曲について	7ページ参照

2.著作権管理団体と管理項目の確認

楽曲の著作権の各項目についてはJASRACまたはNexToneで管理されており、使用場面、状況によって使用できない曲が存在します。

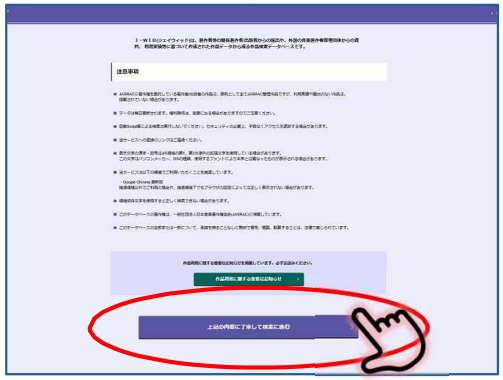
（1） JASRACまたはNexToneで管理されている楽曲であることを確認します。
（2） 確認する項目は「上演/BGM」、「録音」、「ビデオ」の３つの項目です。
「ビデオ」は、使用楽曲が動画審査でも使用される可能性を考慮しています。
（3）各項目でJASRACまたはNexToneどちらかに〇があれば使用可能です。
（4）著作権フリー曲、独自に録音したものなどは楽曲使用申請書 ②権利関係の確認 の 「その他（著作権フリー曲･独自に録音したものなど）」にチェックを入れて ③楽曲の取得方法 に進みます。

●JASRACでの確認

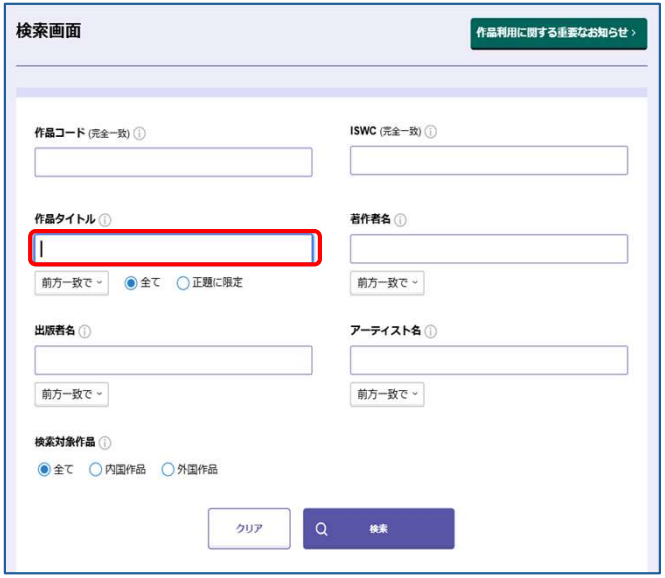
JASRACで検索



画面右上のJ-WIDのバナーをクリックします。



一番下の「上記の内容に了承して検索」
をクリックします。



作品タイトルを入力して
楽曲を検索します。
該当する楽曲の詳細をクリックします。



演奏のカテゴリーから「上演/BGM」、
複製のカテゴリーの中から「録音」「ビデオ」
の項目に〇がついているか確認します。

3項目で〇が揃えば確認完了です。

2.著作権管理団体と管理項目の確認（2）

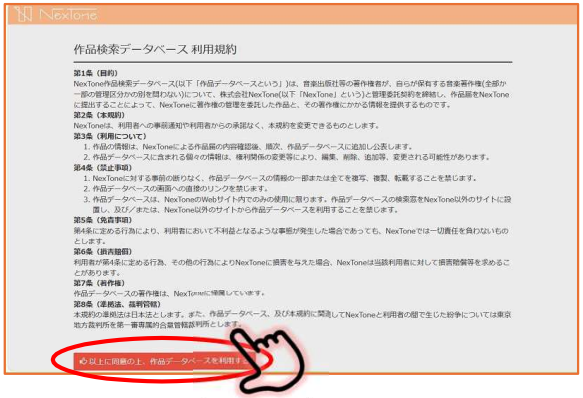
●JASRACで〇が揃わなかった場合（NexToneでの確認）



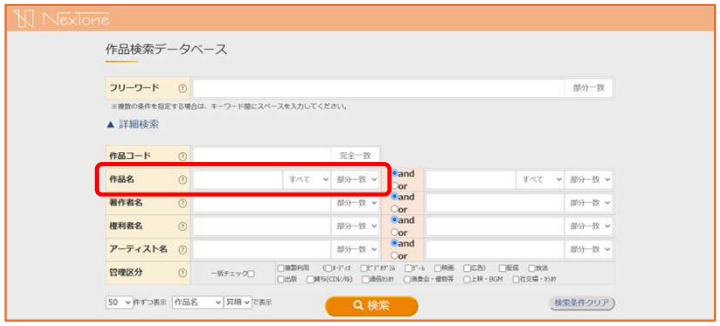
JASRACで〇が揃わなかった場合は
NexToneで確認します。



NexTone もしくは ネクストーン で
検索し、右上の「作品検索」をクリック
します。



一番下の「以上に同意の上…」
をクリックします。



作品タイトルを入力して
楽曲を検索します。



作品コード	作品名	著作者名	アーティスト名	複製					配信	放送	出版	貸与	通カラ	演奏		
				ｵｰﾃﾞｨｵ	ﾋﾞﾃﾞｵ	ｹﾞｰﾑ	映画	広告						演奏会 催物等	上映 BGM	社交場 カラオケ
N00021293	手紙～拝啓 十五の君へ～	アンジェラ・アキ	アンジェラ・アキ	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	×	×

複製のカテゴリーの中から「オーディオ」「ビデオ」
演奏のカテゴリーから「上演/BGM」、
の項目に〇がついているか確認します。
JASRACとは表示項目の順番が異なるため、注意が必要です。

同じ項目でJASRACもしくはNexToneのどちらかに〇があり、
3つの項目すべてで〇が揃えば使用可能です。

3. 発売元レコード会社の確認

（1）日本レコード協会が管理するレコード会社から発売されている音源を使用すること。
大会で使用する楽曲は商業施設で流される音楽のため、使用料の支払いが必要ですが、
日本レコード協会より指定されたレコード会社から発売された楽曲の使用料は、本大会事務局が一括して対応しています。
（2）それ以外のレコード会社の場合は、学校にて個別に手続きが必要です。
（3）「音楽権利情報検索ナビhttps://www.minc.or.jp/ 」を使って音源の発売会社を検索します。





https://www.minc.or.jp/にアクセスして
新規ユーザー登録へ進み、
メールアドレス・パスワードを設定
その後「検索する」へ進みます。





楽曲名、アーティスト名で検索します。



「発売会社」が次のページのリストにあれば使用することができます。
また、品番の欄に書かれているアルファベットと数字の組み合わせが
「CD番号」です。



「発売会社」が次のページのリストになければ、学校にて連絡して
使用の許諾を取る必要があります。ただし、リストの会社の子会社
などで使用許可できることもあります。

（4）音楽権利情報検索ナビで見つけられなかった楽曲はアーティストの所属レコード会社などからご確認ください。
不明点は本大会事務局にお問い合わせください。

本大会事務局で楽曲の使用料の手続きが可能な発売会社

2025年3月27日時点

1	avex trax
2	株式会社A-Sketch
3	株式会社B ZONE
4	cutting edge
5	株式会社gifted（intense lab）
6	NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社
7	株式会社P ヴァイン
8	株式会社room NB
9	株式会社SDR
10	株式会社アニプレックス
11	アルファミュージック株式会社
12	株式会社イドエンターテインメント
13	エイベックス・ピクチャーズ株式会社
14	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ株式会社
15	株式会社エル・ディー・アンド・ケイ
16	キングレコード株式会社
17	株式会社グルーヴ・ミュージックカンパニー
18	株式会社クロア

19	株式会社コナミデジタルエンタテインメント
20	株式会社次世代
21	株式会社ストームレーベルズ
22	株式会社スペースシャワーネットワーク
23	株式会社ソニー・ミュージックアーティスツ
24	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
25	株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ
26	株式会社ソニー・ミュージックパブリッシング
27	株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ
28	株式会社タニプロモーション（NDR）
29	株式会社テイチクエンタテインメント
30	株式会社テレビ朝日ミュージック
31	株式会社トイズファクトリー
32	東宝株式会社
33	株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
34	株式会社ドリーミュージック
35	ナクソス・ジャパン株式会社
36	日本クラウン株式会社

37	日本コロムビア株式会社
38	株式会社ハッツアンリミテッド
39	株式会社バップ
40	株式会社バンダイナムコミュージックライブ
41	ビクターエンタテインメント株式会社
42	株式会社フォーライフミュージックエンタテイメント
43	株式会社プライエイド・レコーズ
44	株式会社フライングドッグ
45	株式会社ポニーキャニオン
46	株式会社ミュージックレイン
47	有限会社ムーンシャイン
48	株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ
49	ユニバーサル ミュージック合同会社
50	株式会社よしもとミュージック
51	株式会社ランブリング・レコーズ
52	有限会社リスペクトレコード
53	ワーナー ブラザース ジャパン合同会社
54	株式会社ワーナーミュージック・ジャパン

※発売レコード会社がリストにない場合、発売レコード会社がわからない場合などは、使用楽曲を変更するか、本大会事務局にお問い合わせください。

4.著作権フリーの楽曲について

（1）著作権フリーとは
著作権が完全に消滅または放棄されているわけではなく、特定の条件下で著作権の行使をしないとされている楽曲です。
よって、用途によっては著作権の制限を受ける可能性がありますので、著作権フリーで使える条件の確認が必要となります。

（2）使用前に必ず各ダウンロードサイトの以下のページを確認してください。
「使用条件」「利用規約」「ライセンス」などのページから、以下の条件をすべて満たしているかを確認してください。

（3）使用可能な楽曲の条件（以下のすべてを満たすこと）
①商用利用可能。
②イベントでの使用が可能。
③公の場での演奏が可能。
④楽曲を複製して使用することが可能。
⑤楽曲の一部のみを使用することが可能。
それぞれのサイトで条件、表記方法などが異なるので、
不明な場合はサイト運営者に使用目的を明示して確認の上ご使用ください。

（4）使用不可能な楽曲
①上記の条件に一つでも満たさない楽曲。
②下記は本大会では対応ができないため、使用できません。
・楽曲のクレジット（著作権者、製作者など）の表記、明記が義務づけられている楽曲。

（5）著作権フリーのＣＤを購入の場合も、上記条件に準じます。

（補足）歌詞、詩、小説などの著作権物に関する著作権について

書道パフォーマンスにおける著作権は、音楽だけに関係してくる問題ではありません。
歌詞、詩、小説などの著作権物を作品に取り入れる場合は、使用内容に制限があり、
その範囲を超える使用については個別に著作権手続きが必要となります。

使用できる範囲は「引用」の範囲内です。
著作権法 第32条 第1項
「公表された著作物は、公正な慣行に合致する方法で、引用の目的上正当な範囲内であれば、引用して利用することができる」
に基づき、引用と判断できる基準は下記の通りです。

1.以下のすべてを満たす場合、「引用」として著作権の手続きなしで使用可能です。
（1）必要性・・・・引用しないと作品が成立しない理由があるか。
（2）出典表示・・・どこからの引用か明記しているか。出典など出所を書くこと。
（3）改変禁止・・・著作者の意に反するような改変や書き換えをしていないこと。
（4）業界慣行・・・引用される著作物がその業界の慣行に合っていること。
（5）明瞭区別性・・・自作部分と引用部分がハッキリ区別できているか。
（6）主従関係・・・引用する部分が少なめで、自分の作品がメインであること。

2.以下のような使用は、著作権手続きや使用料の支払いが必要となる場合があります。
（1）上記の条件を1つでも満たさない。
（2）作品の大部分が著作権物の文章である。
（3）原文を勝手に編集・要約して使用している。

3.手続きが必要なときの対応
（1）使用したい文章の著作権者を調べる。
（2）各学校で、使用許可の申請を行う。（出版社・管理団体など）
（3）使用料が発生する場合は、各学校で支払いを行う。

学校内での使用とは異なる基準となりますのでご注意ください。

法的エビデンス
(1) 著作権法第32条第1項
「引用の目的上正当な範囲内で
なければならない」

(2) 著作権法第48条
「著作物を利用する場合、
出所を明示しなければならない」

(3) 著作権法第20条（同一性保持権）
「著作者の意に反して改変を受けない」

(4) 著作権法第32条
「公正な慣行に合致するもの」

(5) 裁判例で重視されている

(6) 著作権法第32条
「正当な範囲内」・裁判例多数